

平成18年度事業報告書

第1 事業概況

1. 選手強化育成に関する事業

(1) ナショナルチームの強化合宿を次のとおり実施した。

性別	回数	実施期日	参加者(名)		会場
			スタッフ	選手	
男子	①	平成18年6月26日～7月1日	3	16	鈴鹿市鈴鹿ガーデンテニスコート
	2	平成18年9月7日～9月12日	3	8	東京都有明テニスの森公園
	3	平成18年10月7日～10月12日	3	5	福山市ウェルサンピア福山テニスコート
	4	平成18年10月26日～11月2日	4	6	ドーハ
	5	平成18年11月22日～11月25日	3	5	大磯プリンスホテルテニスコート
	6	平成19年3月5日～3月9日	3	16	四日市市四日市ドーム
女子	①	平成18年7月2日～7月7日	3	17	広島広域公園テニスコート
	2	平成18年9月7日～9月12日	3	10	東京都有明テニスの森公園
	3	平成18年10月7日～10月12日	3	6	福山市ウェルサンピア福山テニスコート
	4	平成18年10月26日～11月2日	4	6	ドーハ
	5	平成18年11月22日～11月25日	3	5	大磯プリンスホテルテニスコート
	6	平成19年3月4日～3月9日	3	16	広島市中央庭球場

(注1) 男子・女子ともに第4回の合宿は、第15回アジア競技大会に向けて大会会場での日本選手団の合宿である。

(注2) 2. 3. 4. 5回は、男女合同合宿である。

(注3) ○印は(財)日本オリンピック委員会の委託事業(2,149,000円)である。

(2) ジュニア選抜強化チーム(ジュニア・ナショナルチーム)の強化合宿を次のとおり実施した。

性別	回数	実施期日	参加者(名)		会場
			スタッフ	選手	
男子	①	平成18年4月27日～5月2日	3	16	大阪市靱テニスコート・マリテニスパーク北村
女子	①	平成18年8月21日～8月22日	2	6	和歌山市和歌山信愛女子短期大学附属高校テニスコート
	2	平成18年9月5日～9月8日	3	20	広島市中央庭球場

(注) ○印は、スポーツ振興基金の助成事業(1,200,000円)である。

(3) 全日本アンダー強化合宿を次のとおり実施した。

性別	回数	実 施 期 日	参加者 (名)		会 場
			スタッフ	選手	
男子	U-14	平成19年3月5日～3月9日	3	16	四日市市四日市ドーム
	U-18	平成19年3月5日～3月9日	3	16	四日市市四日市ドーム
	U-21	平成19年3月5日～3月9日	2	15	四日市市四日市ドーム
女子	U-14	平成19年3月4日～3月9日	3	16	広島市中央庭球場
	U-18	平成19年3月4日～3月9日	3	14	広島市中央庭球場
	U-21	平成19年3月4日～3月9日	3	16	広島市中央庭球場

(4) 強化スタッフを次のとおり各種大会に派遣した。

アジア競技大会日本代表予選会	西田豊明 北本英幸 斉藤広宣 渡部政治
	若梅明彦 神崎公宏 小野寺 剛 中本裕二
全日本シングルス選手権大会	若梅明彦 小野寺 剛 中本裕二
全日本社会人選手権大会	北本英幸 斉藤広宣 渡部政治 若梅明彦
全日本ジュニア選手権大会	小野寺 剛

(5) 競技者育成プログラムの推進事業

① Step1～Step2は各支部毎に開催した。

② Step3 (U-14・U-18/男・女)を下記のとおり開催した。

ブロック名	期 日	参加選手数	各支部代表	カテゴリー別 指導者	ブロック 運営委員	日本連盟 運営委員	データ入力	総 計
北海道・東北(宮城・仙台市)	10/27~29	138	14	27	4	4	5	192
関 東(山梨・飯田市)	9/ 1~ 3	159	15	31	5	4	3	217
北信越(新潟・新潟市)	9/15~17	95	10	20	3	4	5	137
東 海(三重・四日市市)	9/ 8~10	78	8	16	6	4	6	118
近 畿(和歌山・橿本市)	9/15~17	114	14	24	4	4		160
中 国(広島・三次市)	10/ 6~ 8	96	9	20	3	5	4	137
四 国(香川・高松市)	10/13~15	79	8	16	4	4		111
九 州(熊本・熊本市)	10/ 6~ 8	150	15	29	2	4	4	204
計		909	93	183	31	33	27	1276

③ S t e p 4 「全日本U-14・18・21選考会及び強化練習会

兼第1回ソフトテニスジュニアジャパンカップ」を下記のとおり開催した。

期 日：11月23日～24日（選考会及び強化練習会）

11月25日～26日（第1回ジュニアジャパンカップ）

会 場：宮崎市生目の杜運動公園テニスコート

選 手：U-14（男子：40名／女子：38名）

U-18（男子：44名／女子：44名）

U-21（男子：36名／女子：36名）

指導者：30名（各カテゴリーの男女別に5名）

2. 指導者養成に関する事業

（1）平成18年度指導者研修会として、昨年に引き続き各支部より小学生・中学生・高校生指導者の代表各1名が一堂に会し、指導者の連携を深める目的で開催した。

・期 日：平成19年2月24日（土）～2月25日（日）

・会 場：神奈川県大磯プリンスホテル

・参加者：159名（支部代表＝138名、スタッフ＝15名、専門委員長＝6名）

【研修内容】

1) 2月24日（土） 受付＝13：30～

・全体会：14：30～

あいさつ 本田茂雄（生涯スポーツ委員会委員長）

笠井達夫（専務理事）

参加者紹介、諸連絡

・分科会：14：45～ 主要テーマ

小学生「小学生クラブ育成、競技者育成プログラムの現状と課題」

中学生「競技者育成プログラムを定着させるために」

高校生「より良い競技者育成プログラムをめざして」

・懇親会：18：30～ 夕食を兼ねた懇談

2) 2月25日（日）

・全体会：9：00～

前日の各分科会での質問に対する答弁をした。

・ 野際照章（競技者育成マネジメント部会長）より、S t e p - 3 ～

S t e p - 4 の実施報告があった。

・ 笠井専務理事より、実施概要の報告や新たな課題に対しての方向性が示唆された。

・分科会報告（9：15～10：00）

①小学生（丹崎健一＝小学生部会長）

小学生クラブの現状把握と育成のための組織化および競技者育成プログラムの推進に関わり日程調整、選考基準（将来性の発掘）の問題が提起された。

②中学生（間中和男＝生涯スポーツ委員会委員）

競技者育成プログラムのS t e p - 2 ～S t e p - 4 を実施しての課題について、育成目的を見据え可能性を持たせる指導実践の取り組みを期待したい。

③高校生（田部井喜行＝生涯スポーツ委員会委員）

競技者育成プログラムについて、S t e p - 2 スムーズな導入、S t e p - 3

の採点方法の改善が要望された。U制の中で高校3年生の扱いが課題となった。

・質疑応答（10：30～12：15）

一貫指導システムとしての競技者育成プログラムをより良いものにするため
およびソフトテニスを普及振興させるための取り組みについての意見や要望が
出された。

・閉会（12：15～12：30～）

本田委員長の閉会のあいさつと諸連絡

・解散（12：30～13：00）昼食後に解散

(2) (財) 日本体育協会公認コーチ養成専門科目講習会

1) 日程（前期）： 9月22日（土）～23日（日）

（後期）：12月22日（金）～24日（日）

2) 会 場 ：千葉県白子町「サニーインむかい」

3) 受 講 者 ：86名

【講習内容の概要】 ①＝前期 ②＝後期 ()＝講師

- ・基礎理論 ①「ソフトテニスの現状と課題」 (石井)
 - ①「ソフトテニスの技術指導理論」 (時安)
 - ①「アンチドーピングの実際」 (永井)
 - ②「ソフトテニスの生理学」 (水野)
 - ②「ソフトテニスの健康管理と安全対策」 (水野)
 - ②「ソフトテニス選手の栄養サポート」 (川野)
 - ②「ソフトテニスのバイオメカニクス」 (井田)
 - ②「ソフトテニスの技術指導理論」 (小野寺)
 - ②「ソフトテニスのルール・審判法」 (柳下)
 - ②「ソフトテニスのトレーニング」 (中島)
 - ②「ソフトテニスのコーチング論」 (石井)
 - ②「ソフトテニスの心理的サポート」 (立谷)
- ・指導実習 ①「ソフトテニスの実践技術指導法と実践指導と
ジュニアのための指導DVD」 (時安・榎並)
 - ①②「指導計画の作成」 (西村)
 - ①「健康管理と現場における救急処置」 (永井)
 - ②「中級・上級の応用技術指導法」 (小野寺・高橋)
- ・実 技 ①「実践的コーディネーショントレーニング」 (石井・高橋)
 - ①「ソフトテニスの実践技術1、ベースラインプレーヤー」 (時安・榎並)
 - ①「ソフトテニスの実践技術2、ネットプレーヤー」 (榎並・高橋)
 - ②「ソフトテニスの審判法」 (柳下)
 - ②「ソフトテニスの実践技術、シングルス」 (神崎・高橋)
 - ②「ソフトテニスの戦略・戦術、コンビネーション」 (神崎・高橋)
- ・検定試験 (石井)

(3) 指導者バンクの立ち上げ

競技者育成プログラムの推進等のため日本連盟として指導者を確保する必要から、各支部の
推薦を受けた指導者バンクを整備している。

なお、地域における普及活動を支援するための指導者バンクも整備している。

(4) 地域スポーツ指導者養成事業

ア. 指導員養成講習会専門科目開催事業 11会場 実施都道府県(宮城県 福島県 栃木県
埼玉県 長野県 静岡県 奈良県 和歌山県 岡山県 香川県 徳島県)

イ. 上級指導員養成講習会専門科目開催事業 2会場 実施都道府県(山梨県 新潟県)

3. 地域グループ育成に関する事業

各支部に対し会員登録料(一般の20%、中学生の20%、小学生の50%)を還元し、地域
クラブ・ジュニアクラブの育成等の充実を図った。

また、各支部に対し中学生大会、レディース大会、ソフトテニスの日、指導者バンクの補助を
行った。

4. 国内競技会に関する事業

別表1のとおり諸大会を実施した。

(注) 別表1(P41~43)のうち、

全日本選手権大会はスポーツ振興基金の助成(1,500,000円)あり。

5. 地域における競技会に関する補助事業

9地区選手権大会、9地区高等学校選抜大会、10地区中学校選手権大会、壮年東西対抗大会、
超壮年東西対抗大会、全日本学生同好会大会の開催に対して補助を行った。

6. 公認審判員制度に関する事業

(1) マスターレフェリー46名、マスターアンパイヤー56名を認定した。

(2) 公認審判員の認定を次のとおり行った。

(数値:名)

1級	新規	83
	更新	206
2級	新規	4,859
	更新	4,552
	高校生	18,086
ジュニア		18,373
計		46,285

(注) 都道府県別認定者掲載数は別表2(P44)に掲載

参考:過去5年間の実績

(数値:名)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
1級	405	304	410	415	350
2級	8,821	11,845	9,657	10,322	9,956
高校生	10,572	10,940	14,533	20,246	18,344
ジュニア	9,060	9,247	11,931	10,787	16,034
計	28,858	32,336	36,351	41,770	44,684

(3) 1級審判員の検定会と研修会を、次のとおり実施した。

	実 施 期 日	会 場	参加者(名)
検 定 会	平成19年1月7日～8日	東京体育館	49
	平成19年1月13日～14日	邦和スポーツランド	42
研 修 会	平成19年1月28日	福岡県 アクション福岡	22
	平成19年2月11日	愛媛県 緑の広場	20
	平成19年2月18日	福島県 福島体育館	34
	平成19年2月18日	千葉県 柏井高等学校	49
	平成19年2月18日	奈良県 天理大学体育学部	35
	平成19年2月18日	島根県 県立体育館	7
	平成19年2月24日	静岡県 浜松アリーナ	15
	平成19年2月25日	福井県 古城ドーム	12

(4) 競技規則書を23, 417部を頒布した。

採点票(5, 377冊)・オーダー票(1, 205冊)・ジュニア審判マニュアル(5冊)

レッドカード、他(166枚)等を頒布した。

7. 技術等級制度に関する事業

(1) 名誉指導員6名を認定した。

参考：過去5年間の実績 (数値：名)

年 度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
人 数	6	6	243	79	2

(2) 技術等級の認定を次のとおり行った。

(数値：名)

等 級	マスター	E X	S-EX	S P	S-SP	1 級	2 級	3 級	4 級	計
申 請	1	66	17	267	10	497	1,165	698	2,688	5,415

(注) 都道府県別認定者数は別表3 (P45)に掲載

参考：過去5年間の実績 (数値：名)

年 度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
人 数	5,750	6,666	6,130	6,389	5,788

8. 用具・施設の公認に関する事業

(1) ラケットの証紙409, 080枚 ネット証布2, 800枚を頒布した。

参考：過去5年間の実績 (数値：枚)

年 度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
ラケット証紙	518,400	612,100	498,070	493,115	445,795
ネ ッ ト 証 布	3,000	3,800	4,200	2,800	3,200

(2) 6社41種類のラケットを公認した。

9. 広報に関する事業

(1) 機関誌「ソフトテニス」を発行（毎月1回）

購読者数 支部購読1,533名 個人購読417名

(2) 主要大会のテレビ放映

スポーツ衛星放送チャンネル「ガオラ」のレギュラー番組として、次のとおり放映した。

放映月	大会名
4	第17回都道府県対抗全日本中学生大会
5	第31回全日本高等学校選抜大会
6	第51回全日本女子選抜大会
7	第15回アジア競技大会 日本代表予選会
8	第26回全日本学生王座決定戦
9	第23回全日本小学生選手権大会
10	全日本高等学校選手権大会
11	第28回全日本レディース決勝大会（団体戦）
12	天皇賜杯・皇后賜杯 全日本総合選手権大会
1	競技者育成プログラムStep-4（全日本U-21・18・14選考会兼強化練習会） 及び第1回ジュニアジャパンカップ
2	第47回全日本東京インドア大会
3	第52回全日本インドア選手権大会

(3) 第61回全日本選手権大会（福岡市）がNHK教育テレビで、前年に引き続いて放送された。

(4) 平成18年度 大会記録集を作成し、支部・報道機関等へ配布した。

(5) インターネットのホームページを継続した。

URL : <http://www.jsta.or.jp>

E-mail : info@jsta.or.jp

10. 各種表彰の実施

(1) 平成18年12月17日の評議員会に先立って、平成18年度の各種表彰を行い、代表者に賞状・メダル等を授与した。

表彰の内訳は、次のとおりである。

本部功労者 なし

支部功労者 90名

優良団体 44団体

ランキング 434名

最優秀監督 優秀監督

最優秀選手 優秀選手

読売スポーツ賞

JOCジュニア・オリンピックカップ最優秀選手

オリンピック有望選手

次表参照

1 1. 国際競技大会への代表選手団等の派遣

(1) 第1回フレンドシップ国際ジュニアソフトテニス大会

モンゴル・ウランバートルに於いて、7月4日(火)～7月7日(金)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

役員	神鳥泰次(国際委員)	片岡新平(広島県支部)
男子監督	塩田孝一(尽誠学園高校教諭)	
女子監督	檜村正明(就実高校教諭)	
男子選手	石井賢太郎(音戸高校)	中本圭哉(音戸高校)
	岡本悠(尽誠学園高校)	井口雄一(尽誠学園高校)
	太田重広(岡山理科大学附属校)	柴田章平(岡山理科大学附属校)
女子選手	弓野加佳(就実高校)	佐藤那帆(就実中学校)
	吉田光理(尽誠学園高校)	稲積佳林(高岡商業高校)
	水松彩華(就実高校)	熊林紗織(札幌龍谷学園高校)

イ. 参加国 韓国、中華台北、日本、中国、キリギスタン、モンゴル

ウ. 成績 金メダル=男子ダブルス(石井・中本)、女子ダブルス(吉田・佐藤)
女子シングルス(水松) ミックスダブルス(水松・柴田)

(2) 第5回チャイニーズカップ国際ソフトテニス大会

中国・桂林市に於いて、7月25日(火)～7月27日(木)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

役員	笠井達夫(専務理事)	山口正紀(国際委員)
男子選手	篠原秀典(高崎北高校)	松口友也(厚木市役所)
	佐々木洋介(ヨネックス)	山田拓未(大神子病院)
女子選手	佐藤佳奈(ヨネックス)	緒方優紀(ヨネックス)
	上原絵里(ナガセケンコー)	久保陽子(ナガセケンコー)

イ. 参加国 韓国、中華台北、インド、チェコ、日本、中国

ウ. 成績 金メダル=男子ダブルス(篠原・山田)、男子シングルス(篠原)
混合ダブルス(篠原・緒方) 女子ダブルス(佐藤・緒方)

(3) 第2回ハンガリー国際ソフトテニス大会

ハンガリー・ブタペストに於いて、8月18日(金)～8月20日(日)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

役員	神鳥 泰次 (国際委員)	蒲原 英敏 (国際委員)
男子選手	森田 祐哉 (東北福祉大学)	寒河江 幸平 (明治大学)
女子選手	東田 早代 (東芝姫路)	山 博香 織 (東芝姫路)

イ. 参加国 ハンガリー、チェコ、ドイツ、オランダ、韓国、日本

ウ. 成績 金メダル=女子ダブルス (東田・山博)

(4) 第14回日・韓・中ジュニア交流競技会 (ソフトテニス)

韓国・大邱広域市に於いて、8月22日(金)～8月27日(日)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

団長	山本 照夫 (理事・高体連部長)	
男子監督	小野寺 剛 (巣鴨学園高校教諭)	
女子監督	林 三千夫 (和歌山信愛女子短期大学附属高校教諭)	
男子選手	鹿島 鉄平 (都城泉ヶ丘高校)	井口 雄一 (尽誠学園高校)
	村上 雄人 (三重高校)	黒羽 祥平 (三重高校)
	石川 裕基 (伊勢原高校)	岩 博拓斗 (伊勢原高校)
女子選手	福田 慶 (就実高校)	岩田 淳子 (就実高校)
	中村 朱里 (和歌山信愛女子短期大学附属高校)	深谷 美佳 (広島女子商学園高校)
	水間 奈津紀 (常盤木学園高校)	阿部 悠梨 (松山商業高校)

イ. 参加国 日本、韓国、中国

ウ. 成績 銀メダル=男子団体 女子団体

(5) 第13回世界ソフトテニス選手権プレ大会

大韓民国・安城市に於いて、11月8日(水)～11月10日(金)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

役員	西村 信寛 (副会長)	笠井 達夫 (専務理事)
	神鳥 泰次 (国際委員)	山口 正紀 (国際委員)
男子選手	松口 友也 (厚木市役所)	佐々木 洋介 (ヨネックス)
女子選手	杉本 瞳 (東芝姫路)	海江田佐奈美 (秋田県体育協会)

イ. 参加国 日本、中華台北、モンゴル、インドネシア、韓国、

ウ. 成績 銅メダル=混合ダブルス (松口・海江田)

(6) 第15回アジア競技大会ソフトテニス競技会

カタール・ドーハに於いて、12月2日(土)～12月8日(金)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

男子監督 北本英幸(小松市立高校教諭) コーチ 斉藤広宣(松戸市役所)

トレーナー 川上晃司(スポーツインテリジェンス)

男子選手 中堀成生(NTT西日本一中国) 高川経生(NTT西日本一中国)

花田直弥(京都市役所) 川村達郎(岡山市役所)

篠原秀典(高崎北高校教諭)

女子監督 渡部政治(広島女子商学園高校校長) コーチ 若梅明彦(九十九里高校教諭)

トレーナー 浅川佳子(鍋島整形外科)

女子選手 玉泉春美(東芝姫路) 上嶋亜友美(東芝姫路)

辻美和(東芝姫路) 濱中洋美(広島女子商学園高校職員)

上原絵里(ナガセケンコー)

イ. 参加国 韓国、モルジブ、モンゴル、日本、ネパール、フィリピン、中華台北、中国、タジキスタン、ネパール、キルギスタン

ウ. 成績 金メダル=男子団体 女子ダブル(玉泉・上嶋)

(7) 第4回中山杯国際ソフトテニス大会

中華台北・台中市に於いて、平成19年3月17日(土)～3月18日(日)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

引率責任者 田中俊充

男子選手 菅野創世(川口市役所) 小林幸司(日本体育大学)

女子選手 上原絵里(ナガセケンコー) 濱中洋美(広島女子商学園高校職員)

イ. 参加国 日本、中華台北、タイ、インドネシア、アメリカ

ウ. 成績 金メダル=男子シングルス(菅野) 女子シングルス(上原)

女子ダブルス(上原・濱中)

12. 国際普及の促進に関する事業

(1) 海外長期滞在指導者の派遣

海外滞在中の武井紀明氏（インドネシア・バンコク市滞在）および玉木 進氏（ハンガリー・ブタペスト市滞在）を継続派遣した。

(2) アメリカへ指導者と選手を派遣

4月12日～19日まで、林 敏弘（日本連盟副会長）他3名をアメリカ・ロスアンゼルスに派遣し、現地での技術指導を行った。

また、7月12日～21日には、林 敏弘（副会長）、丹崎健一（国際委員）、古賀俊彦氏（サンライフ監督）と女子選手4名をロスアンゼルスとサン・ルイス・オビスポのCalifornia Worksshop（カリフォルニア州を中心に体育教師が参加する研修会）でのデモンストレーションと技術指導を行った。（サンライフは原則自己負担）

なお、ロスアンゼルスでは、カナダチームが合流し、アメリカ、カナダ、日本が合同で強化練習と練習試合を行った。

(3) ドイツ・フランクフルトへの指導者派遣

4月19日～7月7日まで、武元望美氏をドイツのフランクフルトに派遣し、現地のテニスクラブでのデモンストレーションおよびソフトテニスの技術指導を行った。

また、ドイツに滞在中に、イタリアおよびオランダで行われた普及活動にも派遣し、現地での技術指導を行った。

(4) ヨーロッパへ指導者と選手を派遣

4月21日～5月2日まで、サンライフ古賀俊彦監督と選手6名をチェコ・ハヴィロで開催された「チェコ国際オープンテニス大会2006」に参加し、合わせてドイツ・フランクフルトで3日間にわたるデモンストレーションおよび指導セミナーに派遣した。（原則自己負担） フランクフルトの会議とチェコの大会にはブダペスト滞在の玉木 進氏が、フランクフルトの指導セミナーにはベルギー滞在の元トヨタ自動車チーム監督谷山義寛氏とレディーヌスで活躍している由香利夫人にご協力をいただき、また、各国との調整役をナガセケンコー 田辺 理氏のご協力を得て行った。

(5) イタリア・ローマへのジュニア派遣

5月20日～27日まで、千葉県松戸市立第四中学校の櫻井芳秋先生、千葉県多古町立多古中学校の川口昇吾先生が引率して、両校の生徒8名をイタリアのローマに派遣した（原則自己負担）ローマでホームステイをしながら、近郊のキャッスル・ガンドルホを中心に現地の中学校生徒たちと交流およびソフトテニス指導を行った。

(6) マカオへ指導者を派遣

桂林で開催された第5回チャイニーズカップが終了した後、7月29日～8月23日までインドと中国のソフトテニスの普及に協力している松井愛美氏をマカオに派遣し、マカオ在住の松崎早苗氏とテニス教室を連日開催し、ソフトテニスの技術指導を行った。

なお、8月22日には「第1回マカオソフトテニス大会」が開催された。

(7) フィリピン選手の来日

11月1日～14日まで、フィリピンナショナルチームの団長1名、監督1名、男子選手4名、女子選手3名（計9名の選手団）がドーハで開催される第15回アジア競技大会に向けての強化練習のために来日し、天理大学や慶應大学等のご協力により充実した強化が図られた。

(8) スペイン

北海道の佐々木寿氏、後藤則応氏を中心とする指導者7名、選手5名をスペインの6都市に普及指導のために派遣した。（原則自己負担） 一行は2班に分かれ第1班は11月4日～12日まで、ビトリア、マドリード、バリャドリードで普及を行った。第2班は11月9日～20日まで、マドリード、カルタヘナ、バレンシア、バルセロナで普及を行った。

(9) ヨーロッパへ指導者と選手を派遣

12月10日～21日まで、国際委員の田辺 理氏とサンライフ古賀俊彦監、選手4名を欧州への普及活動のために派遣した。（原則自己負担） また、ベルギー駐在のトヨタ自動車前監督の谷山義寛氏と夫人の谷山由香利氏もフランスで合流し、昨年同様に普及活動に参加いただいた。今回は、一昨年から引き続けて3回目の普及活動となり、ヨーロッパでのソフトテニス普及に手ごたえを感じている。

(10) マカオから選手来日

昨年地元マカオで開催された東アジア競技大会へは残念ながら出場できなかったが、ソフトテニスへの探究心がさらに強くなり、継続勉強のために平成18年3月31日～4月2日までマカオの選手3名が来日し、日本体育大学のご協力のもと研修をした。

(11) 用具・用品の支援

14カ国、 ボールー316打、ラケットー270本、ポンプー144、ネットー12張
《ボール》 オーストラリア、フランス、インド、ベルギー、アメリカ、マカオ、ドイツ
ボリビア、インドネシア、ドーハ、スコットランド、香港、ペル・コロンビア
《ラケット》 フランス、インド、ベルギー、アメリカ、マカオ、ドイツ、ボリビア
インドネシア、スコットランド、香港、ペル・コロンビア
《ポンプ》 アメリカ、ドイツ、インドネシア、ドーハ、スコットランド、香港
《ネット》 ドーハ

13. 国際大会の開催促進に関する事業

13. 国際大会の開催促進に関する事業

(1) 2006 第15回アジア競技大会準備

- ① 星野 博（国際委員長）と丹崎健一（国際委員）ドーハを訪問した。
ドーハには、ソフトテニスの協会がない中で、標記大会を開催するための役員体制や運営の準備を行った。
- ② アジア連盟事務局および日本連盟として、アジアの関係国に派遣役員の割り振りを行った。
関係した役員数は53名であった。

(2) 2007 第13回世界選手権大会準備

- ① 11月8日～10日に開催された世界選手権プレ大会時に国際会議を開催し、国際連盟と安城組織委員会（AWCOC）とで、大会要項等の協議をした。
- ② 平成19年3月10日～11日開催の第11回アジアカップクラブ対抗ひろしま国際大会に来日された、国際ソフトテニス連盟朴 相何会長と標題について協議した。

第 2 庶 務 事 項

1. 評議員会に関する事項

(1) 書面審議による評議員会

ア 期 日 平成18年6月27日(火)

- イ 審議事項 ① 平成17年度事業報告および収支決算報告について
② 平成18年度補正予算について
③ 中学3年生の国体ソフトテニス競技の参加

(2) 平成18年度評議員会

ア 期 日 平成18年12月17日(日)

イ 会 場 全共連ビル4F「大会議室」

※議事に入る前に例年の通り表彰式を行なった。

ウ 審議事項

- ① 平成18年度第2次補正予算(案)について
② 長期基本計画(案)について
③ 平成19年度事業計画(案)について
④ 平成19年度収支予算(案)について
⑤ 寄附行為の変更(申請)について
⑥ 理事会提案について
⑦ 平成19年度評議員会日程について
⑧ 役員改選について

2. 理事会に関する事項

(1) 第1回理事会

ア 期 日 平成18年4月22日(土)

イ 会 場 全日本中学校長会館4F「会議室」

- ウ 議 題 ① 平成18年度事業推進および平成19年度以降の長期計画について
② 会員登録について
③ 傷害補償制度(死亡見舞金の制度化)について
④ 公認申請「ユニフォーム・ダイワ精工(P r i n c e)」について
⑤ 公認辞退「シューズ・ディアドラジャパン」について
⑥ ラケットの公認申請について
⑦ 指導者の海外派遣について
⑧ 国際大会日本代表選手選考の理事会決定について
⑨ 国際大会派遣助成に関する規程について

(2) 第2回理事会

ア 期 日 平成18年6月17日(土)

イ 会 場 全共連ビル「会議室」

- ウ 議 題 ① 平成17年度事業報告および決算報告について
② 平成18年度第1次補正予算について
③ 中学3年生の国体参加について

(3) 第3回理事会

- ア 期 日 平成18年9月23日(土)
- イ 会 場 全日本中学校長会館4F「会議室」
- ウ 議 題 ① 平成19年度事業計画および予算編成方針について
- ② 次期長期計画(案)について
- ③ ソフトテニス用具、用品「ラケット」の公認申請について
- ④ 役員改選について
- ⑤ 平成18年度1級審判員検定会、研修会について

(4) 第4回理事会

- ア 期 日 平成18年11月18日(土)～19日(日)
- イ 会 場 広島県総合体育館「会議室」
- ウ 議 題 ① 長期基本計画(2007～2011)について
- ② 平成19年度事業計画(案)および収支予算(案)について
- ③ 専門委員会提案(大会要項変更)について
- ④ ソフトテニス用具、用品「ラケット」の公認申請について
- ⑤ 支部功労者および優良団体について
- ⑥ 平成19年度評議員会日程について
- ⑦ 寄附行為の変更(申請)について
- ⑧ 読売スポーツ賞候補者推薦について

(5) 第5回理事会

- ア 期 日 平成18年12月16日(土)
- イ 会 場 全共連「101会議室」
- ウ 議 題 ① 平成18年度第2次補正予算(案)について
- ② 長期基本計画案(2007～2011)について
- ③ 平成19年度事業計画(案)および収支予算(案)について
- ④ ソフトテニス用具、用品「ラケット」の公認申請について
- ⑤ 寄附行為の変更(申請)について

(6) 第6回理事会

- ア 期 日 平成19年1月27日(土)
- イ 会 場 全日本中学校長会館4F「会議室」
- ウ 議 題 ① 参与の推薦について
- ② 学連・高体連・中体連代表者の理事会出席について
- ③ 平成19～20年度専門委員会構成について
- ④ 各専門委員会の長期・19年度事業推進計画の提出について
- ⑤ ソフトテニス用具、用品「ラケット」の公認申請について
- ⑥ コート施設業者の公認辞退(松本製網)について
- ⑦ 平成15年度理事会日程について
- ⑧ 平成19年度ナショナルチーム、全日本Uのスタッフ及び選手について
- ⑨ 全日本選手権大会の大会要項改訂に伴う学連選手の取り扱いにつて

3. 専門委員会等に関する事項

(1) 各専門委員会等諸会議が、次のとおり開催された。

月	日	専門委員会（部会）名	会 場
4	1	プログラム編成部会	東京体育館会議室
	1 5	プログラム編成部会	東京都ソフトテニス連盟
	1 5	会員登録制度部会	全日本中学校長会館
5	1 3	広報委員会	全日本中学校長会館
	2 0	マネジメント部会	全日本中学校長会館
6	3	審判委員会	全日本中学校長会館
	4	総務委員会	全日本中学校長会館
	1 1	生涯スポーツ委員会	全日本中学校長会館
	2 9	プログラム編成部会	東京都ソフトテニス連盟
	3 0	競技委員会	全日本中学校長会館
7	1	プログラム編成部会	東京都ソフトテニス連盟
	2	競技委員会	全日本中学校長会館
	1 5	国際振興プロジェクト	白子町
	1 5	強化委員会	全日本中学校長会館
	2 2	会員登録制度部会	全日本中学校長会館
	2 2	プログラム編成部会	岸記念体育会館
8	1 2	国際振興プロジェクト	全日本中学校長会館
	1 6	プロ編成（マスタース）	岸記念体育会館
	2 6	プログラム編成部会	岸記念体育会館
	2 7	プログラム編成部会	岸記念体育会館
9	1	プログラム編成部会	岸記念体育会館
	8	プログラム編成（国体）	岸記念体育会館
	1 1	強化委員会	有明
	1 6	国際振興プロジェクト	福山市
	2 4	プログラム編成部会	岸記念体育会館
1 0	7	プログラム編成部会	白子町
	2 2	強化委員会	福岡市
1 1	5	競技者育成部会	全日本中学校長会館
	1 1	会員登録制度部会	全日本中学校長会館
1	7	ドーピングコントロール	東京体育館
2	4	審判員合否判定会議	大阪体育館
	1 2	マネジメント部会	岸記念体育会館
	1 2	強化委員会	岸記念体育会館

月	日	専門委員会（部会）名	会 場
2	2 3	医科学部会	岸記念体育会館
	2 4	専門委員長会議	大磯プリンスホテル
	2 4	プログラム編成部会	岸記念体育会館
	2 8	機関誌編集部会	国立代々木競技場 5 0 5
3	4	強化・競技者育成合同会議	岸記念体育会館
	7	機関誌編集部会	国立代々木競技場 5 0 5
	1 1	審判委員会	全日本中学校長会館
	1 2	I Tシステム	岸記念体育会館
	2 1	マネジメント部会	京都府体育協会会議室
	2 2	国際振興プロジェクト	全日本中学校長会館
	2 4	広報委員会	全日本中学校長会館
	2 4	会員登録制度部会	全日本中学校長会館

（２）中学校会員登録担当者的会議（４月１５日：全日本中学校長会館）

（３）中学校会員登録理事長会議（４月１６日：全日本中学校長会館）

（４）選考委員会（１０月８日：全日本中学校長会館）

（５）競技者育成プログラム普及促進事業会議（１２月２３日：札幌）

（６）生涯スポーツコンベンション会議（１９年１月１９日：郡山市）

（７）スポーツと環境会議（９月２２日：長野）

（８）第１５回アジア競技大会祝勝会（１２月１６日：東京グリーンパレス）

4. 理事・監事・評議員・専門委員・顧問・参与・事務局職員に関する事項

(1) 平成18年度 理事 23名

役 職	氏 名	選出母体	役 職	氏 名	選出母体
会 長	海 部 俊 樹	学識経験者	理 事	武 鐘 守	中 国
副 会 長	林 敏 弘			上 田 喜 博	四 国
	表 孟 宏			姫 野 嘉 孝	九 州
	西 村 信 寛			北 山 敏 隆	学 連
専務理事	笠 井 達 夫	会長推薦		山 本 照 夫	高 体 連
理 事	佐 藤 正 矩	北 海 道		佐々木 悟	中 体 連
	本 田 茂 雄	東 北		小 原 信 幸	会長推薦
	藤 原 伸 二	関 東		西 田 豊 明	
	星 野 博	東 京		宮 下 恭 子	
	和歌浦 信雄	北 信 越		石 井 源 信	
	斉 藤 元 三	東 海		柳 下 秋 久	
	正城 與四次	近 畿			

(2) 平成18年度 監事 3名

氏 名	支 部	氏 名	支 部	氏 名	支 部
北 村 和 久	三 重	安 田 直 之	群 馬	大 西 貞 夫	大 阪

(3) 平成18年度 評議員 50名

氏 名	支 部	氏 名	支 部	氏 名	支 部
富 樫 康 夫	北海道	新 保 俊 彦	青 森	菊 池 栄 光	岩 手
松 田 孝 志	宮 城	萬 正 一	秋 田	山 田 耕 司	山 形
川 島 登	福 島	額 賀 富 雄	茨 城	田 村 哲 二	栃 木
鈴 木 正 彦	群 馬	井 下 洪 平	埼 玉	石 川 雅 利	千 葉
今 井 史 郎	東 京	野 田 寛	神奈川	向 山 淳	山 梨
八 子 建 悟	新 潟	宮 沢 幸 男	長 野	高 倉 正 和	富 山
井 上 清 一	石 川	川 畑 茂	福 井	落 合 敏 男	静 岡
横 野 久美子	愛 知	内 田 政 和	三 重	市 原 茂 徳	岐 阜
福 地 茂	滋 賀	山 本 毅	京 都	阿 部 宗 一	大 阪
森 崎 俊 夫	兵 庫	川 西 斎	奈 良	筒 井 満	和歌山
安 東 健 司	鳥 取	森 脇 孝 吉	島 根	重 平 静 洋	岡 山
神 鳥 泰 次	広 島	秋 枝 正 文	山 口	馬 詰 悟	徳 島
松 浦 充	香 川	小 村 丈 夫	愛 媛	横 江 忠 志	高 知
鶴 博 剛	福 岡	江 頭 武 典	佐 賀	馬 場 信 幸	長 崎
吉 田 博 紀	熊 本	片 野 秀 樹	大 分	寺 園 罔 順	宮 崎
川 畑 城	鹿児島	仲 間 正 弘	沖 縄	大 西 由 佳	日学連
大 川 晋 一	高体連	間 中 和 男	中体連		

(4) 平成18年度 専門委員会委員

総務委員会	委員長	和歌浦 信 雄			
会員登録制度部会	委 員	星 野 博	佐 藤 正 矩	武 鐘 守	柳 下 秋 久
		佐々木 悟	出 石 稔		
	部会長	佐々木 悟			
	委 員	今 井 史 郎	川 島 登	中 田 正 雄	北 正 三
		金 子 知 行	大 西 由 佳		

審判委員会	委員長	小 原 信 幸			
	委員	柳 下 秋 久	上 田 喜 博	今 井 史 郎	北 村 和 久
		林 田 正 信	出 石 稔	荒 木 稜 夫	丹 崎 健 一
		田 中 敏 雄	蒲 原 英 敏	上 山 親 子	荒 畑 鈴 佳

競技委員会	委員長	藤 原 伸 二			
	委員	斉 藤 元 三	宮 下 恭 子	上 田 喜 博	長 岡 敏 久
		土 博 朋 典	笛 岡 宣 明		
	プログラム編成部会	部会長	長 岡 敏 久		
		委員	斉 藤 元 三	上 田 喜 博	佐 藤 健 司
			木 谷 順 三	小笠原 浩 二	中 野 吉 広
			渡 部 秀 二	土 博 朋 典	池 田 光 雄
			小 俣 三 男	大 川 京 子	高 川 恵 美 子
	用具施設部会	部会長	斉 藤 元 三		
		委員	武 鍾 守	姫 野 嘉 孝	小 原 信 幸

強化委員会	委員長	西 田 豊 明			
	委員	武 鍾 守	石 井 源 信	福 林 徹	時 安 繁
		金 治 義 昭	北 本 英 幸	神 崎 公 宏	斉 藤 広 宣
		渡 部 政 治	若 梅 明 彦		
	医科学部会	部会長	福 林 徹		
		委員	石 井 源 信	水 野 哲 也	山 本 裕 二
			平 田 悦 造	楠 堀 誠 司	井 田 博 史

指導委員会	委員長	石 井 源 信			
	委員	西 田 豊 明	斉 藤 元 三	渡 部 政 治	北 本 英 幸
		小野寺 剛	井 田 博 史	神 崎 公 宏	榎 並 紳 吉
		岡 村 勝 幸			
	等級制度部会	部会長	斉 藤 元 三		
		委員	今 井 史 郎	荒 木 稜 夫	

生涯スポーツ委員会	委員長	本 田 茂 雄			
	委員	佐 藤 正 矩	宮 下 恭 子	姫 野 嘉 孝	正 城 与 四 次

小学生普及部会	部会長	北 山 敏 隆	佐々木 悟	間 宮 栄 二	篠 埜 護
		野 際 照 章	井 上 創	大 西 由 佳	
	委 員	佐 藤 正 矩			
		渡 辺 武 夫	松 口 康 彦	芝 地 康 幸	石 川 雅 利
		金 岡 昭 房	國 枝 俊 子		
	シ ニ ア 部 会	部会長	宮 下 恭 子		
		委 員	姫 野 嘉 孝	正 城 与四次	大 西 貞 夫
			田 中 敏 彦	横 野 久美子	保 倉 謙 治
			大 川 京 子	時 任 宥 幸	原 田 公 夫

国 際 委 員 会	委員長	星 野 博			
	委 員	西 田 豊 明	内 藤 享 佑	内 藤 尚 男	橋 本 茂 樹
		神 鳥 泰 次	長 岡 敏 久	丹 崎 健 一	山 口 正 紀
		福 博 穰 司	蒲 原 英 敏	小 野 政 昭	佐 伯 善 春

広 報 委 員 会	委員長	武 鐘 守			
	委 員	星 野 博	柳 下 秋 久	工 藤 敏 巳	中 山 俊 介
		萩 原 廣 一	大 高 宏 元	小野寺 剛	
	機関誌編集部会	部会長	柳 下 秋 久		
		委 員	田 中 美 明		
	I T 部 会	部会長	工 藤 敏 巳		
		委 員	小 澤 浩	大 野 勝 敏	土 博 朋 典
			北 正 三	内 原 繁	

《特別委員会》

ドーピング判定委員会	委員長	笠 井 達 夫			
	委 員	福 林 徹	大 西 祥 平	柳 澤 尚 武	藤 原 伸 二

ドーピングコント ロール委員会	委員長	福 林 徹			
	委 員	平 田 悦 造	永 井 博 典	児 島 瑞 夫	大 西 祥 平
		水 野 哲 也			

競技者資格委員会	委員長	笠 井 達 夫			
	委 員	和歌浦 信 雄	藤 原 伸 二	小 原 信 幸	宮 下 恭 子
		佐々木 悟	山 本 照 夫	北 山 敏 隆	

倫 理 委 員 会	委員長	林 敏 弘			
	副委員長	笠 井 達 夫			
	委 員	表 孟 宏	西 村 信 寛	和歌浦 信 雄	藤 原 伸 二
		宮 下 恭 子			

競技者育成プログ ラム推進委員会	委員長	笠 井 達 夫			
	委 員	西 田 豊 明	石 井 源 信	武 鐘 守	北 山 敏 隆
		山 本 照 夫	佐々木 悟	佐 藤 正 矩	
競技者育成部会	部会長	西 田 豊 明			

	部会員	北 本 英 幸	渡 部 政 治	神 崎 公 宏	中 本 裕 二
		小野寺 剛	林 三千夫		
指導者育成部会	部会長	石 井 源 信			
	部会員	岡 村 勝 幸	林 三千夫	小野寺 剛	榎 並 紳 吉
マネジメント部会	部会長	武 鍵 守			
	部会員	野 際 照 章	岡 村 勝 幸	林 三千夫	小野寺 剛
		重 平 静 洋	井 上 創	野 口 英 一	

国際振興検討 プロジェクト	委員長	笠 井 達 夫	アドバイザー：西 村 信 寛		
	委 員	田 辺 理	星 野 博	丹 崎 健 一	神 鳥 泰 次
		山 口 正 紀			

(5) 平成18年 顧問・参与・事務局職員

《 顧 問 》

天 沼 照 夫	林 岩 雄	小 川 寧 治	小 澤 洋太郎	松 本 忠 吉
中 屋 卯三郎	倉 田 裕 司	松 田 謙 治	斎 藤 孝 弘	奥 田 忠 雄
内 田 昌 一				

《 参 与 》

山 口 紀 夫	長 瀬 二 郎	鬼 塚 喜八郎	水 野 正 人	米 山 宏 作
萩 原 修	高 松 政 男	松 田 信 穂	林 幸 夫	中 山 昌 作
内 藤 享 佑	伊 野 二 彦	和 田 祥 司	吉 田 敏 彦	

《事務局職員》

事務局長	瀬 戸 幹 男 平成13年 4月1日～	職 員	西 村 真 澄	平成13年11月 1日～
			竹 田 稔	平成10年 4月 1日～
			荒 木 朋 子	平成 3年 5月 1日～
			大八木 洋 子	平成13年 4月 1日～
			山 浦 和 博	平成16年 5月 1日～

(6) 平成19年度 理事 23名

役 職	氏 名	選出母体	役 職	氏 名	選出母体
会 長	海 部 俊 樹	学識経験者	理 事	姫 野 嘉 孝	九 州
副 会 長	林 敏 弘			小 原 信 幸	会長推薦
	表 孟 宏			宮 下 恭 子	
	西 村 信 寛			西 田 豊 明	
専務理事	笠 井 達 夫	会長推薦		石 井 源 信	
理 事	本 田 茂 雄	福岡・魁		柳 下 秋 久	
	藤 原 伸 二	関 東		丹 崎 健 一	
	和歌浦 信雄	北 信 越		野 口 英 一	
	斉 藤 元 三	東 海		笛 岡 宣 明	
	正城 與四次	近 畿		岡 村 勝 幸	
	神 鳥 泰 次	中 国		神 崎 公 宏	
	上 田 喜 博	四 国			

(7) 平成19年度 監事 3名

氏 名	支 部	氏 名	支 部	氏 名	支 部
北 村 和 久	三 重	大 西 貞 夫	大 阪	井 上 清 一	石 川

(8) 平成19年度 評議員 50名

氏 名	支 部	氏 名	支 部	氏 名	支 部
富 樫 康 夫	北海道	新 保 俊 彦	青 森	新 沼 正 博	岩 手
松 田 孝 志	宮 城	萬 正 一	秋 田	山 田 耕 司	山 形
川 島 登	福 島	額 賀 富 雄	茨 城	田 村 哲 二	栃 木
鈴 木 正 彦	群 馬	山 下 晴 海	埼 玉	石 川 雅 利	千 葉
山 博 隆 一	東 京	笠 井 一 栄	神奈川	千 野 一 也	山 梨
八 子 建 悟	新 潟	堀 内 昭	長 野	高 倉 正 和	富 山
真 島 仁 志	石 川	川 畑 茂	福 井	落 合 敏 男	静 岡
横 野 久美子	愛 知	内 田 政 和	三 重	木 村 芳 雄	岐 阜
福 地 茂	滋 賀	山 本 毅	京 都	阿 部 宗 一	大 阪
森 田 賢 二	兵 庫	川 西 斎	奈 良	花 田 一 弥	和歌山
安 東 健 司	鳥 取	森 脇 孝 吉	島 根	重 平 静 洋	岡 山
木 原 晴 彦	広 島	秋 枝 正 文	山 口	馬 詰 悟	徳 島
松 浦 充	香 川	青 野 實 則	愛 媛	横 江 忠 志	高 知
中 野 賢 治	福 岡	江 頭 武 典	佐 賀	馬 場 信 幸	長 崎
吉 田 博 紀	熊 本	片 野 秀 樹	大 分	寺 園 園 順	宮 崎
川 畑 城	鹿児島	仲 間 正 弘	沖 縄	梨 本 美由紀	日学連
大 川 晋 一	高体連	間 中 和 男	中体連		

(9) 平成19年度 専門委員会委員

総 務 委 員 会	委員長	和歌浦 信 雄	
-----------	-----	---------	--

会員登録制度部会	委員	柳 下 秋 久	斉 藤 元 三	神 鳥 泰 次	姫 野 嘉 孝
		丹 崎 健 一	出 石 稔		
	部会長	和歌浦 信 雄			
	委員	田 鹿 明 彦	今 井 史 郎	川 島 登	北 正 三
		大 西 正 明	梨 本 美由紀	岡 村 勝 幸	

審判委員会	委員長	小 原 信 幸			
	委員	柳 下 秋 久	北 村 和 久	今 井 史 郎	林 田 正 信
		出 石 稔	荒 木 稜 夫	丹 崎 健 一	田 中 敏 雄
		蒲 原 英 敏	笛 岡 宣 明	藤 原 伸 二	荒 畑 鈴 佳
		上 山 親 子			

競技委員会	委員長	藤 原 伸 二			
プログラム編成部会	委員	斉 藤 元 三	宮 下 恭 子	上 田 喜 博	笛 岡 宣 明
		長 岡 敏 久	土 博 朋 典	小 原 信 幸	
	部会長	長 岡 敏 久			
	委員	斉 藤 元 三	上 田 喜 博	佐 藤 健 司	石 川 雅 利
		木 谷 順 三	小笠原 浩 二	八代 醍 雅 文	山 口 眞 護
		渡 部 秀 二	土 博 朋 典	池 田 光 雄	木 所 一 典
		小 俣 三 男	大 川 京 子	高 川 恵美子	
用具施設部会	部会長	斉 藤 元 三			
	委員	小 原 信 幸	姫 野 嘉 孝	笛 岡 宣 明	

強化委員会	委員長	西 田 豊 明			
	委員	神 崎 公 宏	石 井 源 信	福 林 徹	金 治 義 昭
		北 本 英 幸	斉 藤 広 宣	渡 部 政 治	若 梅 明 彦
		中 本 裕 二	上 松 明 裕		
医科学部会	部会長	福 林 徹			
	委員	石 井 源 信	水 野 哲 也	山 本 裕 二	工 藤 敏 巳
		出 家 正 隆	藤 島 淑 子	楠 堀 誠 司	井 田 博 史
		川 上 晃 司			

指導委員会	委員長	石 井 源 信			
	委員	西 田 豊 明	渡 部 政 治	神 崎 公 宏	小野寺 剛
		岡 村 勝 幸	榎 並 紳 吉	井 田 博 史	中 本 裕 二
		安 達 和 紀	篠 辺 保		
等級制度部会	部会長	岡 村 勝 幸			
	委員	今 井 史 郎	荒 木 稜 夫	安 達 和 紀	篠 辺 保

生涯スポーツ委員会	委員長	本 田 茂 雄			
	委員	丹 崎 健 一	宮 下 恭 子	佐 藤 正 矩	姫 野 嘉 孝
		正 城 興四次	佐々木 悟	北 山 敏 隆	間 中 和 男

		野 際 照 章	間 宮 栄 二	田部井 喜 行	梨 本 美由紀
		大 川 京 子			
	小学生普及部会	部会長	丹 崎 健 一		
	委 員	渡 辺 武 夫	松 口 康 彦	芝 地 康 幸	石 川 雅 利
		金 岡 昭 房	國 枝 俊 子	川 並 久美子	
シニア部会	部会長	宮 下 恭 子			
	委 員	姫 野 嘉 孝	正 城 興四次	大 西 貞 夫	時 任 宥 幸
		保 倉 謙 治	山 村 嘉 一	原 田 公 夫	田 中 敏 彦
		横 野 久美子	大 川 京 子		

国 際 委 員 会	委員長	丹 崎 健 一			
	委 員	西 田 豊 明	内 藤 享 佑	橋 本 茂 樹	神 鳥 泰 次
		長 岡 敏 久	山 口 正 紀	福 博 穰 司	蒲 原 英 敏
		小 野 政 昭	佐 伯 善 春	玉 木 進	野 口 英 一

広 報 委 員 会	委員長	柳 下 秋 久			
	委 員	中 山 俊 介	萩 原 廣 一	大 高 宏 元	小野寺 剛
		北 正 三	近 藤 貴 予		
機関誌編集部会	部会長	柳 下 秋 久			
	委 員	田 中 美 明	近 藤 貴 予		
I T 部 会	部会長	北 正 三			
	委 員	小 澤 浩	大 野 勝 敏	土 博 朋 典	内 原 繁
		天 野 晴 夫			

《特別委員会》

ドーピング判定委員会	委員長	笠 井 達 夫			
	委 員	福 林 徹	大 西 祥 平	柳 澤 尚 武	藤 原 伸 二

ドーピングコント ロール委員会	委員長	福 林 徹			
	委 員	出 家 正 隆	永 井 博 典	藤 島 淑 子	梶 山 祥 子
		川 上 晃 司			

競技者資格委員会	委員長	笠 井 達 夫			
	委 員	和歌浦 信 雄	藤 原 伸 二	小 原 信 幸	宮 下 恭 子
		田 鹿 明 彦	大 川 晋 一	北 山 敏 隆	

倫 理 委 員 会	委員長	林 敏 弘			
	副委員長	笠 井 達 夫			
	委 員	表 孟 宏	西 村 信 寛	和歌浦 信 雄	藤 原 伸 二
		宮 下 恭 子			

競技者育成プログラム推進委員会	委員長	笠井達夫				
	委員	西田豊明	石井源信	武鍵守	北山敏隆	
		大川晋一	田鹿明彦	丹崎健一	神崎公宏	
		野際照章				
競技者育成部会	部会長	神崎公宏				
	委員	斉藤広宣	渡部政治	中本裕二	小野寺剛	
		林三千夫	岡村勝幸	野口英一	篠辺保	
指導者育成部会	部会長	石井源信				
	委員	岡村勝幸	小野寺剛	榎並紳吉	神崎公宏	
		安達和紀	篠辺保			
マネジメント部会	部会長	野際照章				
	委員	岡村勝幸	林三千夫	小野寺剛	重平静洋	
		井上創	野口英一	天野晴夫		

国際振興検討プロジェクト	委員長	笠井達夫	アドバイザー：西村信寛			
	委員	丹崎健一	神鳥泰次	山口正紀	橋本貞夫	
		田辺理	野口英一			

(10) 平成19年 顧問・参与・事務局職員

《 顧 問 》

天沼照夫	林岩雄	小川寧治	松本忠吉	中屋卯三郎
倉田裕司	松田謙治	斎藤孝弘	奥田忠雄	内田昌一

《 参 与 》

山口紀夫	長瀬二郎	鬼塚喜八郎	水野明人	米山宏作
萩原修	高松政男	松田信穂	林幸夫	中山昌作
内藤享佑	伊野二彦	和田祥司	吉田敏彦	星野博

《事務局職員》

事務局長	瀬戸幹男 平成13年 4月1日～	職 員	西村真澄	平成13年11月 1日～
			竹田 稔	平成10年 4月 1日～
			荒木朋子	平成 3年 5月 1日～
			大八木洋子	平成13年 4月 1日～
			古川一久	平成19年 4月 1日～

5. 会員登録制度の実施に関する事項

次のとおり会員が登録した。

(数値：人数)

種 別	小学生	中学生	高校生	高 専	大学生	一 般	合 計
平成18年度	17,742	240,872	93,199	373	7,567	53,787	413,540
平成17年度	18,084	213,181	96,335	344	7,266	52,422	387,632
平成16年度	19,410	369,672	94,305	115	7,153	49,616	540,271
平成15年度	16,739	370,521	90,116	216	6,654	49,417	533,663
平成14年度	16,654	370,570	87,409	247	6,255	49,083	530,218

(注) 都道府県別会員数は別表 4 (P 4 6) に掲載

6. 分担金に関する事項

(1) 支部分担金

一律 150,000円 × 50支部 7,500,000円

(2) 会員登録料

(単位：円)

種別	小学生	中学生	高校生	高 専	大学生	一 般	合 計
金額	8,871,000	120,436,000	46,599,500	186,500	3,783,500	53,787,000	233,663,500

(3) 維持会費

ア. 公認メーカー

(単位：円)

用 具 ・ 用 品	金 額	公 認 メ ー カ ー
ラケット・10社	1,000,000	カワサキ・ミズノ・昭和ゴム・ヨネックス・ゴーセン ヒロウン・SR Iスポーツ・ダイワ精工・タケマエ・ジャパーナ
ボール ・ 2社	5,520,000	昭和ゴム・ナガセケンコー
ネット ・ 9社	900,000	鐘屋産業・アシックス・松本製網・寺西喜商店・ミセキネット 昭和ゴム・高須賀・テイエヌネット・鶴沢ネット
ストリング・5社	3,300,000	ゴーセン・東亜ストリング・ヨネックス・SR Iスポーツ・ミズノ
ユニフォーム 11社	12,760,000	カワサキ・ミズノ・昭和ゴム・ヨネックス・ゴーセン アシックス・ゴールドウイン・ナイキジャパン SR Iスポーツ・アディダスジャパン・ダイワ精工
シューズ 9社	4,320,000	アシックス・ヨネックス・ナイキジャパン・ゴーセン アディダスジャパン・SR Iスポーツ・ミズノ・ダイワ精工 ブリヂストン
計	27,800,000	

イ. 施設業者

(単位：円)

施 設・製 造	金 額	業 者 名
施設業者・2社	1,000,000	N I P P Oコーポレーション・奥アンツーカ
砂入り人工芝 製造業者・5社	2,500,000	S R Iハイブリッド・積水樹脂・大塚ターフテック(大塚製薬) 東和織物・エスディーテック
計	3,500,000	

ウ. 一 般

(単位：円)

150,000	大 鹿 洪 司	岐 阜						
50,000	内 田 昌 一	京 都	林 敏 弘	東 京	西 村 信 寛	東 京	三田クラブ	東 京
	稲門クラブ	東 京						
30,000	米 山 宏 作	ヨネックス	表 孟 宏	兵 庫	笠 井 達 夫	神奈川	本 田 茂 雄	宮 城
	安 田 直 之	群 馬	柳 下 秋 久	東 京	星 野 博	東 京	大 西 貞 夫	大 阪
	石 井 源 信	東 京	藤 原 伸 二	千 葉	上 田 喜 博	徳 島	姫 野 嘉 孝	大 分
	武 鍵 守	広 島	北 村 和 久	三 重	山 本 照 夫	宮 城	西 田 豊 明	東 京
	宮 下 恭 子	大 阪	佐 藤 正 矩	北 海 道	小 原 信 幸	岡 山	正 城 与 四 次	兵 庫
	斉 藤 元 三	愛 知	北 山 敏 隆	京 都	ミズノ		ゴ ー セ ン	
	昭 和 ゴ ム		若 梅 明 彦	千 葉	斉 藤 広 宣	千 葉	浅 川 佳 子	東 京
	川 上 晃 司	兵 庫	和 歌 浦 信 雄	新 潟	佐々木 悟	東 京		
10,000	松 本 忠 吉	宮 城	倉 田 裕 司	大 阪	高 松 政 男	栃 木	長 瀬 二 郎	ナガセケンコー
	林 岩 雄	栃 木	松 田 信 穂	千 葉	中 屋 卯 三 郎	岐 阜	奥 田 忠 雄	岐 阜
	村 上 照 五 郎	岩 手	楠 武 徳	千 葉	高 木 安 一 郎	静 岡	沼 本 脩	静 岡
	伊 藤 朱	静 岡	内 田 政 和	三 重	古 城 郁 夫	栃 木	田 村 哲 二	栃 木
	早 川 敏 生	愛 知	横 野 久 美 子	愛 知	大 川 晋 一	茨 城	片 野 秀 樹	大 分
	内 藤 享 佑	東 京	金 子 知 行	千 葉	石 井 秀 夫	佐 賀	江 頭 武 典	佐 賀
	長 岡 敏 久	埼 玉	金 岡 昭 房	宮 城	時 任 宥 幸	東 京	保 倉 謙 治	埼 玉
	北 正 三	埼 玉	林 田 正 信	熊 本	神 鳥 泰 次	広 島	荒 木 稜 夫	東 京
	中 本 裕 二	広 島	佐 藤 健 司	群馬県	篠 埜 護	岡 山	小 野 政 昭	広 島
	橋 本 茂 樹	福 岡	荒 畑 鈴 佳	岐 阜	林 三千夫	和 歌 山	田 中 敏 彦	山 梨
	石 川 雅 利	千 葉	大 川 京 子	千 葉	若 梅 明 彦	千 葉	斉 藤 広 宣	千 葉
	福 林 徹	東 京	井 上 創	兵 庫	笛 岡 宣 明	愛 知	田 中 美 明	埼 玉
	大 野 勝 敏	東 京	渡 辺 武 夫	東 京	池 田 光 雄	東 京	北 本 英 幸	石 川
	アシックス		野 口 英 一	東 京	金 治 義 昭	兵 庫	今 井 史 郎	東 京
	原 田 公 夫	鳥 取	平 田 悦 造	広 島	鍵 紀 代 子	宮 城		

7. 補助金・助成金等に関する事項

(1) 助成金

(単位：円)

日本体育協会	国民体育大会役員旅費	591,320
スポーツ振興センター	選手強化事業（ジュニア選手強化合宿）	1,200,000
	国内大会開催（全日本選手権大会）	1,500,000
スポーツ振興くじ	ドーピング検査	150,000
	競技者育成プログラム	1,200,000

(2) 委託金

(単位：円)

日本オリンピック委員会	選手強化事業（ナショナルチーム強化合宿）	2,149,000
日本体育協会	大会委託金（日本スポーツマスターズ）	1,781,162
	公認コーチ養成講習会委託金	972,010

(3) 補助金

(単位：円)

日本オリンピック委員会	マーケティングプログラム研修	918,000
	競技者育成プログラム	5,000,000
ヨネックススポーツ財団	研究事業補助	550,000

8. 寄付金・協賛金に関する事項

(1) 免税募金

ア. 選手強化事業

(単位：円)

林 敏 弘	950,000
宮 崎 正 己	380,000

(2) 協賛金

(単位：円)

ミズノ（株）「全日本インドア大会協賛金」	250,000
ミズノ（株）「フィリピン普及指導活動協賛」	200,000
ミズノ（株）「ナショナル・ジュニアナショナル、チーム協賛金」	2,000,000
ヨネックス（株）「ナショナル・ジュニアナショナル、チーム協賛金」	2,000,000
ヨネックス（株）「ナショナル・ジュニアナショナルチーム、ストリング協賛金」	500,000
（株）ゴーセン「ナショナル・ジュニアナショナルチーム、ストリング協賛金」	500,000
全国書籍出版（ミニミニ）	4,500,000
ナガセケンコー（株）「国際振興協力」	300,000
クラブニッポン（株）「競技者育成Step-4協賛」	1,500,000

(3) 新規公認

(単位：円)

ダイワ精工（株）	ユニフォーム	5,000,000
----------	--------	-----------

9. 傷害補償制度の給付金に関する事項

48件 1,694,000円を給付した。

〈怪我の内訳〉

傷害の内容	一 般	大学生	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	11					11
骨 折	6		1	2	1	10
靱 帯 損 傷	2		2			4
肉 離 れ	8					8
半月板損傷			1			1
死 亡						0
そ の 他	11		1		2	14
計	38	0	5	2	3	48

別表 1 平成 18 年度大会一覧表

	日	大会名	種別	会場	参加者数
5	3～5	アジア競技大会日本代表予選会	男子ダブルス	大阪府	138
			女子ダブルス	鶴ヶ島テニスセンター	98
5	20～21	全日本シングルス選手権大会	男子シングルス	北海道旭川市	131
			女子シングルス	花咲スポーツ公園テニスコート	90
6	23～25	ハイスクールジャパンカップ	男子ダブルス	北海道札幌市宮田山庭球場	120
			女子ダブルス	道立総合体育センター「きたえる」	120
7	1～2	西日本シニア選手権大会	シニア男45	宮崎県 総合運動公園テニスコート	64
			シニア女45		64
			シニア男50		98
			シニア女50		86
			シニア男55		82
			シニア女55		86
			シニア男60		86
			シニア女60		82
			シニア男65		68
			シニア女65		36
			シニア男70		50
			シニア女70		30
			シニア男75		18
7	22～24	西日本選手権大会	一般男子	熊本県 パ・クトーム熊本	412
			一般女子		252
			成年男子		70
			成年女子		28
7	15～16	東日本選手権大会	一般男子	千葉県白子町 サニーコート 他	768
			一般女子		362
			成年男子		232
			成年女子		120
			シニア男45		100
			シニア女45		138
			シニア男50		124
			シニア女50		150
			シニア男55		118
			シニア女55		164
			シニア男60		130
			シニア女60		134
			シニア男65		78
			シニア女65		86
			シニア男70		50
			シニア女70		32
7	27～30	全日本小学生選手権大会	男子団体	高知県高知市東部総合	288
			男子個人	運動公園テニスコート	384

	日	大会名	種別	会場	参加者数
7	27～30	全日本小学生選手権大会	女子団体	高知県立	288
			女子個人	春野総合運動公園テニスコート	384
8	2～8	全日本高校選手権大会	男子個人	大阪市	636
			女子個人	マリナーパーク北村	636
			男子団体		288
			女子団体		288
8	4～6	全日本実業団選手権大会	男子団体	秋田県大館市高館テニスコート	1279
			女子団体	鹿角市総合運動公園	150
8	7～9	全日本レディース（個人戦）	ふじ（初心者）	上及び既婚者）	190
			すみれ（独身者25歳以上）	神奈川県	62
			ばら（40歳以上）	厚木市南毛利スポーツセンター	232
			ゆり（50歳以上）	ー	214
			きく（55歳以上）	テニスコート 小田原市テニスカーセンター	268
			あやめ（60歳以上）	テニスコート 平塚市立軟式庭球場	294
			はぎ（65歳以上）	川崎市宮等々力庭球場	162
			さつき（70歳以上）		130
			さくら（75歳以上）		58
8	7～13	全日本学生選手権大会	男子大学対抗	岩手県	522
			女子大学対抗	北上市和賀川クレーンパーク	366
			大学男子	ク	982
			大学女子	テニスコート 常盤台テニスコート	636
			男子シングルス	森山総合公園テニスコート	63
			女子シングルス	ニューサントピア金ヶ崎テニス	57
8	17～19	全国中学校大会	男子個人	愛媛県	128
			女子個人	松山市中央公園テニスコート	128
			男子団体		128
			女子団体		128
8	22～24	全日本レディース決勝大会（団体戦）		千葉県総合スポーツセンター庭球場	528
9	2～3	全日本社会人選手権大会	一般男子	三重県	532
			一般女子		830
			成年男子	県営鈴鹿スポーツカースター	244
			成年女子	テニスコート 鈴鹿市営テニスコート	80
9	7～8	JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	男子1部（13～17歳）ダブル		32
			男子2部（18～20歳）ダブル		32
			女子1部（13～17歳）ダブル		32
			女子2部（18～20歳）ダブル	広島県	32
			男子1部（13～17歳）シングルス	広島市中央庭球場	32
			男子1部（13～17歳）シングルス		32
			男子1部（13～17歳）シングルス		32
			男子1部（13～17歳）シングルス		32
9	15～18	日本スポーツマスターズ	都道府県対抗（38×12）	福山市竹ヶ端運動公園庭球場	426
10	1～4	第61回国民体育大会	少年男子	兵庫県	777
			少年女子	吉川総合運動公園テニスコート	
			成年男子	姫路市立広畑テニスコート	
			成年女子		

	日	大会名	種別	会場	参加者数
10	13～15	全日本シニア選手権大会	男子 4 5	新潟県	1 5 2
			女子 4 5	新潟市庭球場	1 3 0
			男子 5 0	新潟市豊栄総合体育館	2 0 0
			女子 5 0	テニスコート	2 0 4
			男子 5 5	新潟市白根総合公園	2 2 2
			女子 5 5	テニスコート	2 0 8
			男子 6 0	胎内市国際交流公園	1 6 4
			女子 6 0	テニスコート	2 0 2
			男子 6 5	燕市スポーツパーク	1 2 2
			女子 6 5	テニスコート	1 0 6
			男子 7 0	燕市民体育館	7 8
			女子 7 0	吉田テニスコート	4 8
			男子 7 5	長岡市宮希望が丘テニス場	2 8
			女子 7 5		2 6
			混合 4 5		8 1
			混合 5 0		1 5 8
			混合 5 5		1 4 6
			混合 6 0		1 3 0
			混合 6 5		6 0
10	20～22	全日本選手権大会	男子	福岡県東平尾公園テニス競技場	5 9 4
			女子	名島運動公園テニスコート	5 2 2
11	3～5	日本実業団リーグ	男子団体	京都府福知山市三段池公園テニスコート	3 2 0
			女子団体	福知山市民運動場庭球場	6 8
11	4～5	全日本クラブ選手権大会	男子団体	千葉県	1 0 6 4
			女子団体	白子町サニーコート、他	3 2 2
11	17～19	日本リーグ	男子	広島県	4 8
			女子	広島県立総合体育館	4 8
11	24～26	第1回ジュニアジャパンカップ	男子 (U-14)	宮崎県	4 0
			女子 (U-14)	宮崎市生目の杜運動公園	3 8
			男子 (U-18)	テニスコート	4 4
			女子 (U-18)		4 4
			男子 (U-21)		3 6
			女子 (U-21)		3 6
19年 2	4	全日本インドア選手権大会	男子	大阪府	2 4
			女子	大阪市中央体育館	2 4
2	8～9	日本リーグ入替戦	男子	名古屋市長合体育館	2 0
			女子	第二競技場	2 0
3	26～28	都道府県対抗全日本中学生大会	男子団体	三重県	2 8 8
			女子団体	伊勢市宮庭球場	2 8 8
			男子個人	三重県営サンアリーナ	3 8 4
			女子個人	三重県営体育館	3 8 4
3	26～28	全日本高校選抜大会	男子団体	愛知県	1 9 2
			女子団体	名古屋市長合体育館	1 9 2
3	30～31	全国小学生大会	男子5年生の部	千葉県	3 1 8
			女子5年生の部	白子町テニスコート	3 2 8
			男子(4年生以下の部)		3 1 8
			女子(4年生以下の部)		3 2 8

平成18年度 公認審判員認定者数

別表2

H19年3月31日現在

支部	2級				J	MU	1級		MR	再発行		合計/人
	新規	高校	更新	移行			新規	更新		手帳	ワッペン	
北海道	287	292	248	184	2,086	2	2	2	0	0	0	3,103
青森県	36	18	11	0	21	0	4	23	0	0	0	113
岩手県	113	140	130	1,232	1,389	1	0	4	0	0	0	3,009
宮城県	57	205	52	18	117	0	3	10	0	0	0	462
秋田県	73	445	117	58	1,291	0	4	1	0	0	0	1,989
山形県	57	420	57	78	564	0	0	0	0	0	0	1,176
福島県	86	453	138	68	905	0	0	14	0	1	0	1,665
茨城県	57	695	86	9	184	0	2	8	0	4	0	1,045
栃木県	86	531	94	10	31	0	2	1	0	0	0	755
群馬県	4	404	0	92	227	0	1	5	6	0	0	739
埼玉県	298	1,736	455	17	31	0	2	7	2	0	0	2,548
千葉県	108	1,122	157	26	600	0	8	2	2	1	0	2,024
東京都	300	166	246	21	88	22	3	9	3	0	0	858
神奈川県	75	473	38	107	4,801	1	0	0	0	0	0	5,495
山梨県	120	142	125	67	332	8	1	5	1	0	0	801
新潟県	66	244	123	207	2,697	1	5	4	1	0	0	3,348
長野県	104	665	238	2	113	0	2	1	3	0	0	1,128
富山県	49	344	101	0	49	0	0	15	0	0	0	558
石川県	23	76	107	170	818	0	2	4	1	0	0	1,201
福井県	42	40	11	1	60	0	0	12	0	0	0	166
静岡県	78	604	43	27	315	17	2	4	2	2	3	1,097
愛知県	359	57	272	0	14	0	6	2	1	3	0	714
三重県	41	55	14	0	39	0	0	0	0	0	0	149
岐阜県	85	228	108	12	28	0	3	4	3	0	0	471
滋賀県	18	628	52	0	0	0	1		0	0	0	699
京都府	60	441	34	3	34	0	2	4	0	0	0	578
大阪府	131	265	168	0	47	0	0	6	0	1	0	618
兵庫県	502	47	0	0	11	0	1	2	0	0	0	563
奈良県	62	369	141	0	12	0	1	0	0	0	0	585
和歌山県	72	47	59	0	10	0	0	0	0	0	0	188
鳥取県	29	42	38	0	17	0	0	5	0	0	0	131
島根県	22	255	148	15	26	0	2	3	0	0	0	471
岡山県	51	33	74	23	219	3	2	12	5	0	0	422
広島県	119	977	300	4	148	0	1	4	4	2	0	1,559
山口県	49	599	163	37	157	1	10	2	4	1	1	1,024
徳島県	5	210	15	0	14	0	0	0	3	0	0	247
香川県	20	230	36	16	114	0	0	0	0	0	0	416
愛媛県	104	63	96	15	203	0	2	3	0	0	0	486
高知県	19	103	27	10	11	0	0	3	0	0	0	173
福岡県	263	330	51	5	18	0	5	3	7	0	0	682
佐賀県	5	272	28	13	30	0	0	0	0	0	0	348
長崎県	57	340	0	4	30	0	1	4	0	0	0	436
熊本県	63	377	58	41	58	0	0	5	0	0	0	602
大分県	78	86	40	0	13	0	3	6	1	3	3	233
宮崎県	13	56	0	5	102	0	0	0	0	0	0	176
鹿児島県	98	97	32	3	170	0	0	0	1	0	0	401
沖縄県	16	48	21	16	129	0	0	4	0	0	0	234
日本学生	399	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	399
合計人数	4,859	15,470	4,552	2,616	18,373	56	83	206	46	17	7	46,285

平成18年度 技術等級認定者数

別表3

平成19年3月3

支部名	1 級	2 級	3 級	4 級	S P	E X	S-SP	S-EX	名誉指導員	マスター
1 北海道	4	36	0	0	10	2				
2 青 森	1	7								
3 岩 手	3	16	0	0	4	0	0	0	4	1
4 宮 城	3	44	0	0	0	1				
5 秋 田	0	19	0	0	0	1	0	0	1	
6 山 形	1	5	0	0	2					
7 福 島	1	37	133	0	5					
8 茨 城	17	5	0	0	3	0	0	2		
9 栃 木	0	37	0	0	2					
10 群 馬	5	20	2	2	6	0	2	1		
11 埼 玉	57	95	75	141	3	5	3	5	0	0
12 千 葉	8	7	0	0	10	2	0	2		
13 東 京	160	33	8	3	4	4	2			
14 神奈川	3	23	0	0	5	2				
17 山 梨	5	107	78	89	4	1				
16 新 潟	2	29	0	0	0	1				
17 長 野	12	16	74	1,970	3	2	1			
18 富 山	1	0	0	0	1	1				
18 石 川	6	16								
20 福 井	0	4	0	0	2					
21 静 岡	21	6	2	0	7	2	0	2		
22 愛 知	7	79	34	132	7	5	1	3		
23 三 重	14	17	4	0	2					
24 岐 阜	2	18	0	0	0	1				
25 滋 賀	0	28	2							
26 京 都	4	13	3	0	0	1				
27 大 阪	9	74	37	41	0	0	0	1		
28 兵 庫	16	35	1	49	4	5				
29 奈 良	12	0	0	0	10	1				
30 和歌山	12	5	0	0	7	2				
31 鳥 取	17	6			5					
32 島 根	3	12	0	0	10					
33 岡 山	33	32	4	0	12	0	0	1	0	0
34 広 島	8	40	0	0	4	2	0	0	1	0
35 山 口	7	30	9	0	3	1				
36 徳 島	0	22								
37 香 川	1	1	5	0	2	4	0	0	0	0
38 愛 媛	7	6	0	0	7					
39 高 知	0	0	0	0	5					
40 福 岡	6	21	0	0	14					
41 佐 賀	4	3	0	0	4	1				
42 長 崎	6	0	0	0	0	1				
43 熊 本	0	58	213	259	1					
44 大 分	1	13	0	0	2	0				
45 宮 崎	0	73	14	2	2	1	1			
46 鹿児島	4	3	0	0	3	1				
47 沖 縄	0	2								
48 日本学連	14	12	0	0	92	16				
合 計	497	1,165	698	2,688	267	66	10	17	6	1

平成18年度 会員登録集計表

平成19年3月31日現在

別表4

支部名	一般		小学生		中学生		高校生		高専		学 連		合 計	
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
北海道	177	2,720	33	609	295	8,105	176	3,915		67			681	15,416
青 森	53	665	13	274	104	4,411	45	1,109	1	21			216	6,480
岩 手	64	1,712	29	519	146	5,531	86	2,470					325	10,232
宮 城	72	823	21	378	152	2,696	95	2,714	5	39			345	6,650
秋 田	35	731	9	315	82	2,934	50	1,525					176	5,505
山 形	40	691	17	494	74	3,238	48	1,535					179	5,958
福 島	76	1,032	30	694	170	7,942	82	2,161					358	11,829
茨 城	59	1,010	14	355	186	8,462	83	2,185	1	10			343	12,022
栃 木	43	686	10	377	114	5,511	50	1,323					217	7,897
群 馬	46	1,026	16	638	161	7,524	57	1,536	1	14			281	10,738
埼 玉	248	4,436	31	1,232	342	13,790	135	4,565					756	24,023
千 葉	110	2,291	19	479	320	14,393	101	2,766					550	19,929
東 京	141	3,030	20	544	251	6,239	180	4,141					592	13,954
神奈川	130	1,503	10	346	261	12,006	141	3,224					542	17,079
山 梨	48	646	12	330	68	1,930	34	1,017					162	3,923
新 潟	71	1,154	18	560	149	4,575	66	1,594					304	7,883
長 野	18	911	15	387	134	4,520	75	2,074					242	7,892
富 山	21	475	15	477	61	1,723	32	996					129	3,671
石 川	61	771	17	410	75	3,336	47	1,212	1	17			201	5,746
福 井	41	663	5	152	42	1,610	19	720					107	3,145
静 岡	136	1,651	23	613	299	13,801	98	2,053	2	13			558	18,131
愛 知	138	2,855	21	679	362	18,446	151	6,209					672	28,189
三 重	47	639	15	318	181	7,160	85	1,444					328	9,561
岐 阜	61	1,016	26	677	262	7,863	51	1,850					400	11,406
滋 賀	30	614	13	512	22	550	38	1,701					103	3,377
京 都	97	965	18	341	85	2,189	54	1,476					254	4,971
大 阪	101	2,108	17	349	248	2,437	199	3,614					565	8,508
兵 庫	72	1,403	12	169	95	2,345	163	5,958					342	9,875
奈 良	39	872	8	163	72	2,768	35	1,079					154	4,882
和歌山	52	693	13	248	113	4,208	18	585					196	5,734
鳥 取	24	457	19	341	29	804	25	673					97	2,275
島 根	47	481	8	207	50	2,001	41	1,048					146	3,737
岡 山	65	608	16	266	98	3,198	74	2,452					253	6,524
広 島	108	1,533	24	326	116	2,378	107	2,850					355	7,087
山 口	67	1,050	10	364	95	3,866	62	1,838	4	43			238	7,161
徳 島	24	588	9	118	103	2,843	33	668	1	32			170	4,249
香 川	23	369	6	153	55	2,421	31	771					115	3,714
愛 媛	37	625	7	165	116	4,152	65	1,590	1	5			226	6,537
高 知	49	414	12	126	55	1,500	36	602	1	10			153	2,652
福 岡	68	1,298	16	227	158	4,486	98	2,827	2	71			342	8,909
佐 賀	24	505	14	195	77	3,416	43	883					158	4,999
長 崎	46	1,116	9	236	167	6,618	108	2,444					330	10,414
熊 本	66	1,216	18	276	154	5,778	67	1,695	1	31			306	8,996
大 分	46	810	12	219	101	3,111	30	717					189	4,857
宮 崎	56	1,073	20	405	166	4,185	47	1,124					289	6,787
鹿児島	111	1,470	24	366	224	5,902	105	1,655					464	9,393
沖 縄	22	374	8	113	50	1,970	43	611					123	3,068
日本学連											526	7,567	526	7,567
日本連盟	1	8											1	8
合 計	3,211	53,787	752	17,742	6,740	240,872	3,509	93,199	21	373	526	7,567	14,759	413,540
昨年度	3,159	52,422	720	18,084	5,877	213,181	3,534	96,335	16	344	509	7,266	13,815	387,632